



声を掛け合い、地域と連携し
越ヶ谷に根付くまつりを未来へ

越ヶ谷秋まつり保存会会長
やま ざき まもる 山崎守さん (写真左) ・ よう へい 陽平さん (写真右)

越ヶ谷秋まつり保存会は、昨年11月に立ち上げました。伝統を大切にしながら、まつりの次世代への継承や地域振興を目的に活動しています。人材や資金などの課題もありますが、まつりをつなぎ、まちを良くするには人同士のつながりが大事だと実感しています。そのため、まつりを応援してもらおうといういろいろな人に来て、まつりの魅力をPRしたり協力をお願いしたりして、周りを巻き込んでいるんです(笑)。越ヶ谷小学校では、こどもたちに木遣を教えているそうです。このようにまつりが地域に根付くための取り組みが大切だと思います。

みこしが神社から年番町内に設けられた御仮舎へうつされることを渡御、神社に戻ることを還御といいます。四十一種もの役割、担当があり、300人を超える大行列は県内最大級の規模。越ヶ谷秋まつりを代表する景観のひとつです。



見どころ

参

三神社・八会所・御仮舎巡り



越ヶ谷秋まつり実行委員会 南憲^{みなみけん}さん

昔は「バカまつり」と呼ばれるくらい派手なお祭り
りで、毎年のように開催していた時代もありました。
その後、経済的な理由や担い手が不足したりして、
開催できない年も増えてきたんです。次代につな
いでいくためにも、まずは隔年での開催を定着させ
ていきたいと考えています。地域のこどもたちにまつ
りの思い出をたくさん残したくて。会場となる“まちな
か”を巡って楽しんでもらったり、協力していただい
た皆さんに山車を曳いてもらったりと、新しい取り組
みも始めました。単なるイベントではなく、伝統あ
る地域のまつりとしてつないでいきたいと考えていま
す。手応えはあります！



新石三 誼訪亜理沙さん(写真中央)

まつりは当たり前のように身近にありました。今年
は女性で初めての交渉役という、山車を安全に運行
するための役割を任せてもらえました。周りに支えても
らいながら、しっかりと務めたいと思います。

中町 ^{あいだひな} 会田妃南さん(写真右)

山車の上からまちを見たときの特別感が好きです。電線にひっきりりそうな高さなんです。受験生なので、当日はテストがあるんです。テストが終わったら走って帰ってきて、まつりを楽めます。

中町 ^{あい だ さ な} 会田彩南さん(写真左)

2年前は、お稚児さんとして華やかな衣装で行列を歩きました。まつりに参加しているなって実感が湧きました。山車の先頭でじゃらん棒を持って音を鳴らす役が人気なので、今年は朝一で狙っていきます。



タイムスケジュール

10月
10日
土

10:20 みこしが久伊豆神社を出発(渡御)
11:00 山車に迎えられ、越ヶ谷宿内に入る
13:20 みこしが御仮舎に到着
16:00-18:10 山車の曳き廻し
19:00-21:10 山車の曳き廻し

11日 10:30-12:40 山車の曳き廻し
14:15 みこしが御仮舎を出発(還御)
17:00 みこしが久伊豆神社に到着
19:00-21:10 山車の曳き廻し

詳細・最新情報は
越ヶ谷秋まつりホームページをチェック！

